

2020年度第2回町田市環境マネジメントシステム外部評価委員会

議事要旨

【日時】 2020年9月11日（金） 書面開催

【場所】 なし

【出席者】 委員： 松波委員(委員長)、奥委員(職務代理)、斉藤 崇委員、
檜山委員、須永委員、斎藤 之良委員、勝間田委員、
柴崎委員、伏見委員

※意見・質問記入様式の提出をもって、出席とみなします。

事務局： 町田市環境資源部 荻原、

環境政策課 宮坂、川瀬、土志田、井上、香山、西、藤森

コンサルタント： 株式会社知識経営研究所

議題

1 町田市環境マネジメントシステム2019年度実績に対する評価について

- 事務局から、第1回外部評価委員会で委員からいただいた質問等に対して、資料により説明を行い、その上で前年度実績に対する評価をいただいた。

松波委員長： **温室効果ガス排出量・エネルギー使用量** 点数：3

2019年度は2018年度に比べて夏は気温が高く冬は気温が高かったこと、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2020年2～3月のエネルギー消費量が落ち込んだ等、温室効果ガス排出量、エネルギー消費量の低下傾向が働いている状況下での実績値としては、高パフォーマンスが達成されたと評価はできない。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：3

資源（廃棄物）について、夏の大型台風の影響を受け、汚泥等の処分量が大幅に増加したため、目標未達成となっているが、温暖化の影響で近年の台風被害は慢性化してきているので、目標値の設定について、この点も考慮に入れて見直した方が良いのではないかと。

グリーン購入達成率の低下に関して、改善策を展開していくべきである。取引先で適合品を扱っていなかったケースが多かったとのことであるが、そのような場合は、分母から取り除く評価を併記する方が良いのではないかと。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：4

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4

環境法令の遵守 点数：3

不適合件数 80 件とのことであるが、この点は看過できない問題として重大認識しかつ改善を図られたい。

内部環境監査 点数：4

奥 委 員： 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量 点数：4

町田市の評価基準（資料3のP.7）に照らせば「4」という評価になるのかもしれないが、2019年度は暖冬・冷夏に加えて新型コロナウイルスの影響という特殊な事業があったこと、および、顕著な削減がみられた小中学校および市民病院では施設更新による影響が大きかったことを踏まえると、第4次環境配慮行動計画の終了年度である2021年度までに2015年度比で6%削減という目標達成が確実視できるような状況であるとはいえない。

また、パリ協定を受けて、国内削減目標として2030年の26%削減（2013年度比）、さらには2050年の実質排出ゼロが掲げられるなか、町田市の事務事業からの排出量についても現行の環境配慮行動計画が掲げる目標値のみを達成すれば良いというものではなく、その先にはより野心的な目標値の設定が求められることになるであろうことを考えると、いかにしてどこまでの削減を図っていくのかに係る中長期的なビジョンのもとに臨んでいく必要があると思われる。

電力契約については、市有施設全体で新たな統一的な基準を構築し、2019年度から環境に配慮した電力調達を全庁的に実施しており、排出係数のより低い事業者への変更や中小規模の施設における新たな電力事業者と契約締結が進んだことなど、具体的な成果も出てきているようで、前向きかつ先進的な取組みとして評価できる。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：4

廃棄物については、夏の大型台風の影響を受けて、汚泥等の処分量が大幅に増加したとのことだが、通常の業務にともない平時において排出される廃棄物と、いわば不可抗力で発生してしまう災害廃棄物とは分けて集計したほうが良いと思われる。

紙については、小中学校以外において削減努力の成果がみられる。

グリーン購入については、非適合品購入の理由「その他」として、取引先で適合品を取り扱っていなかったことや意識せずにグリーン非適合品を購入していたことが挙げられており、こうしたケースでは改善の余地がある

ものと思われる。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：4

全庁評価が若干低い項目があるものの、地道なこまめな取組努力がなされており、職員のなかにエコオフィス活動が浸透していることがうかがえる。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4

P. 36～38 にかけて「×」がついているケースに改善の余地があるのか、業務や施設の性質上致し方ないケースなのかを見極めたうえで、致し方ないケースについてはその理由さえ明らかになっていれば良いのではないか。

「×」の中身の精査が必要であると思われる。

環境法令の遵守 点数：3

環境法令遵守チェックシートを用いた内部監査によって、少なからず法令対応の不備が見つかっており、より一層の関連法令の周知と対応の徹底が求められる。

是正対応も概ね速やかになされているようではあるものの、是正済みでない案件については、未是正案件の理由の欄に理由が記載されていない部分もあり、どのような状況になっているのかが資料からはわからず、不適合状態が放置されているように見えてしまいかねない。より丁寧な説明と何よりも迅速な是正対応が求められる。

内部環境監査 点数：4

環境法令遵守チェックシートを用いた内部監査によって、少なからず法令対応の不備が見つかることは、内部監査が有効に機能している証左であると思われ、評価できる。

齊藤崇委員：**温室効果ガス排出量・エネルギー使用量** 点数：4

温室効果ガスの排出量は昨年度に比べて減少している。部門ごとに見ると取り組みを強化すべきところもあり、今後に期待したい。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：3

廃棄物の排出量は前年度よりも減少したが、基準年度よりも高い水準にあり、また再利用率も低下している。大型台風の影響等もあるのでやむを得ないところはあるが、取り組みを強化していく必要があると考えられる。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：4

概ねよくできていると思う。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4

概ねよくできていると思う。

環境法令の遵守 点数：3

環境法令遵守チェックシートの運用により、不適合件数が多数確認されたが、それまで明らかにならなかったものが見えてきたのだと思う。今後の改善につなげていただきたい。

内部環境監査 点数：4

不適合事例が見られたが、厳しい内部監査を実施している点は評価できる。

檜山委員： 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量 点数：3

2015年度比3.7%削減の達成は評価基準に照らすと「4：概ね評価できる」と解釈できるものの、ほぼ基準年度と同水準の温室効果ガス排出量があった2018年度と比較した場合に気温影響やコロナウイルス感染拡大による使用量の落ち込みが削減の主要因であることを考慮すると、概ね評価できるとは言い切れないと考えます。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：4

大型台風の影響による汚泥等の処分が発生しなかった場合、排出量は1998トン（2015年度比9.1%減）、再利用率は61.7%（2015年度比6.3%増）と推定されるということですので2015年度比3.1%増ではありますが、「4：概ね評価できる」と判定しました。

但し紙が大きく削減されているため、評価点を4とした旨の注記がありますが、2015年度の数値との比較は参考値で比較値として扱うことは適切ではないと認識されておられるようですので、注記は見直した方が良いと考えます。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：4

12個ある活動別評価項目のうち、7項目が職場平均で4.2点を上回っており、それ以外の項目も3点を下回る項目は発生していないことから、職場によっては課題が残るものの、「4：概ね評価できる」と判定しました。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4

低い実施率の項目が散見されるものの、19個ある活動別評価項目のうち15項目（約8割）で実施率90%を上回っており、「4：概ね評価できる」と判定しました。

環境法令の遵守 点数：2

2019年度より運用を開始した「環境法令遵守チェックシート」による遵守状況の自己点検の取組み自体は評価できるものの、対象施設の3割で法令違反または違反に近い事例が報告され、うち是正済みではない件名も約3割(25件)程度あることを考慮し、「2：あまり評価できない」と判定しました。

内部環境監査 点数：4

不適合や改善事項は発生しているものの、判定された事項を有する14部署に対してフォローアップ内部環境監査および委員会を実施し、年度内に適切なフォローを実施していることから「4：概ね評価できる」と判定しました。

須永委員：**温室効果ガス排出量・エネルギー使用量** 点数：4

気候やコロナウィルス感染拡大など、外部要因はあったものの、実績として減っていることから、概ね評価できる。

資源(廃棄物・紙)、グリーン購入達成率 点数：3

廃棄物については、増加の要因が台風によるものでありやむを得ないと思われる。

グリーン購入達成率については予算や品質等の問題があることは、企業で働いているものとして理解できるが減少している結果を踏まえると、厳しい評価をせざるを得ない。

エコオフィス活動(職員共通) 点数：4

概ね評価できる。

エコオフィス活動(施設担当部署) 点数：4

概ね評価できる。

環境法令の遵守 点数：2

法令に対する不備があったというのは、あまり評価できないため、低評価とした。

昨年度と比べて件数はどうなのかが比較できれば、相対的に評価できると思われる。

内部環境監査 点数：3

前年度と比較して、どうだったか等の比較材料がないと判断が厳しいと思

われる。

齋藤之良委員： 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量 点数：4
概ね目標に沿った改善がみられるので評価したい。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：4
紙資源の削減を含め総じて評価できる。とはいえデジタル化で大きく下げられる分野であり、国の動きも含め今後に期待したい。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：4
取り組みに工夫が見られ全体的に意識の高さを感じられる。国や都のデジタル化が進めばさらに改善ができると思われる。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4
全般的に適切な管理が維持されている。

環境法令の遵守 点数：3
改善すべき点が多く見つかっており、今後は是正の徹底をはかること。

内部環境監査 点数：5
適正に実施されていると判断できる。

勝間田委員： 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量 点数：4
今年度の評価については、コロナウイルスの影響を大きく受けていることを考えると、評価がしにくい。変化状況としては、エネルギー使用量が減少しているので数値的には評価につながると思う。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：3
グリーン購入達成率の低下が各委員から質問が上がっていることを踏まえると今後の課題は達成率の向上になるのではないのでしょうか。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：5
職員の活動は、評価につながります。
今後の日々の活動にも期待します。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4
市民サービスを踏まえると、エレベーター、エスカレーターの不要時停止

は難しい。
できるところから、行動の改善を求めます。

環境法令の遵守 点数：4

環境法令遵守チェックシートを使用開始したことは、チェック項目の基準が明確になり、今後の点検にも期待ができる。
是正対応について、2019年度内には是正対応が行われた件数が全体件数の6割程度という点では是正対応が撤退されているのかがわかりにくい。

内部環境監査 点数：4

フォローアップ内部環境監査を行うことで、問題を改善していく意識がみられる。

柴崎委員：**温室効果ガス排出量・エネルギー使用量** 点数：4

目標・経年変化実績 2015年比3.73%・2018年比3.22%削減
小中学校の灯油ストーブを空調に更新、市民病院のコージェネレーションシステムが貢献

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：4

廃棄物 2015年比3.1%増、2018年9.7%増
大型台風により、汚泥等の処分量が増大
紙 2015年比8.3%減 2018年6.5%減（市役所）
グリーン購入達成率 80.9%

エコオフィス活動（職員共通） 点数：3

環境推進員の評価 12項目平均4.2 最高4.6 最低3.4
低評価の項目多く研修含め、意識の向上を期待する。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4

定期点検：実施率94% 10項目中4項目が100%、全項目100%を望む。
日常運用：実施率90.8% 9項目中100%なし90%以下4項目

環境法令の遵守 点数：3

自己点検結果：不適合80件、是正済55件
2019年より「環境法令遵守チェックシート」の運用で効果をあげている。

内部環境監査 点数：4

監査結果：優良12件、適合84件、改善事項15件、不適合8件
是正対応：不適合、改善事項はフォローアップ監査を実施完了済

フォローアップ監査は必要に応じてフォローが受けられることを希望する。

伏見委員： 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量 点数：4

新型コロナウイルスの影響で2020年2月3月のエネルギー使用量の落ち込みがあり、この状況でいくと、2020年度も基準年度比3.7%近くの削減が見込まれるのではないかと期待します。

資源（廃棄物・紙）、グリーン購入達成率 点数：3

自然災害のための廃棄物の増加はやむを得ません。大災害が起こらないよう祈るのみ。

市役所全体の紙購入量は電子会議の普及等で減少。小中学校でも「GIGAスクール構想」でのパソコン等の配備が各人に行われれば、紙購入量は減少となる。自治体の早期納入を期待。

グリーン購入については、非適合品購入の27.5%が大き過ぎます。意識改革を望みます。

エコオフィス活動（職員共通） 点数：4

概ね良好な取り組みがなされていると思います。

裏紙の有効利用を増やし、不要な物品は最初から購入しないよう努めて欲しい。

エコオフィス活動（施設担当部署） 点数：4

チェックシートを基に各項目共に細かい実施がなされています。

もう一步踏み込み、終業30分前に空調の停止を実施できると、かなり大きな成果が得られると思います。

環境法令の遵守 点数：4

2019年の上半期調査での80件の不適合案件は多いです。そのうちの25件の未是正の対応状況が気にかかります。

遵守状況の管理が行われることで不備が多く発見され、各部の意識改革が徹底され評価は高いです。

内部環境監査 点数：4

2019年度の監査で改善事項15件、不適合8件が挙げられたが、再度のフォローアップ監査で、全てが改善されたことは、かなり評価ができます。

・フォローアップ監査の徹底がよい結果を導いていると思われます。今後ともこの状態を維持することを期待します。